

(様式1)

令和2年度 岩手県立盛岡農業高等学校（全日制）経営計画

校長： 神山 秀市

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	児童生徒 ・進路実現に向けた指導 ・分かる授業による学力の向上、技能・技術の習得、資格の取得 ・充実した部活動とその環境整備	保護者 ・進路目標の実現 ・部活動の活発化 ・基本的な生活習慣の定着(躰、マナー) ・授業及び実習を通しての人間形成	地域住民 ・地域産業及び農業担い手の育成 ・人的・物的教育財産の活用(情報と設備・施設の提供)	関係機関 ・専門性を生かした進路先の開拓 ・社会人として通用するものの見方、考え方、行動ができる生徒 ・農業教育に関わるセンタースクールとしての役割の遂行	
	(2) パートナーとの関係	・学力、理解力及び目的意識向上の支援 ・支援を必要とする生徒への対応	・教育活動への協力 ・経済状況の変化に伴う支援 ・参加したくなるPTA活動の企画	・教育活動への協力と情報発信	・県農林水産部や農業団体等の農業関係機関との連携	
	(3) 学校に影響を与える変化	・産業構造の変化(6次産業化やスマート農業の導入、製造現場等での人材不足) ・農業の持つ多面的機能への期待 ・少子化による中学校卒業予定者数の減少(定員の確保)				
2 校訓・教育目標	校是：「勤農晨起」 校訓：「質実剛健」 「自治協同」 教育目標：自然と向き合い命を育むことを基盤に据えた教育活動を通じて、生徒一人ひとりの心に豊かな人生の実現に繋がる真の強さと優しさを培う。					
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標		
		ア 確かな学力を育むための教育実践と専門教育及び高大連携の推進	・授業が分かると答えた生徒の割合【80%以上】 ・教員の研究授業実施率【100%】 ・インターンシップ実施率【100%】			
		イ 基本的な生活習慣の確立を図る	・年間の欠席率【1%以内】 ・豊かな心を育む教育指導割合【80%】			
		ウ 地域に貢献する人材を育てるキャリア教育の充実	・希望進路達成の割合【100%】			
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめ防止	・学校生活が充実して満足していると答えた生徒の割合【80%以上】			
		オ 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進	・支援を必要とする生徒の状況把握【100%】			
	(2) 取組方針	ア 確かな学力を身につけるための教育実践と専門教育及び高大連携の推進 (7)分かる授業のための授業改善と、教員の授業力向上を推進する。 (4)課外・個別指導等の充実と、生徒一人ひとりにあった学習支援体制の確立。 (7)高大連携や研究機関等との連携による教育実践の推進を図る。				
		イ 豊かな人間性と生きる力の育成 (7)「挨拶の励行」「時間厳守」等基本的な生活習慣や社会規範の確立を目指す。 (4)生徒会や農業クラブ活動等を推進し、コミュニケーション能力や心身の育成を図る。				
		ウ 地域に貢献する人材を育てるキャリア教育の充実 (7)3年間を見通した計画により、その適正と夢(目標)実現のため能力を備えさせて、社会人としての生きる力を育てる。				
		エ 早期発見と解消に向けた適切な対処 (7)日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知。 (4)保護者への丁寧な対応と連携。				
オ 支援を必要とする生徒への対応の充実 (7)情報共有とチームとして支援に臨む。 (4)中学校や家庭との連携を密にする。						
カ 寮教育の充実 (7)農業を中心に地域産業を支えるため、個性豊かで創造性に富む人材を育成。						
キ 特別専攻科の充実 (7)技術や経営能力の向上を図り、農業と地域社会に貢献できる担い手を育成。						

